

拠出金名：経済協力開発機構拠出金

| | | | | | |
|---|---|--------------|---------------|--------------------------------|-------------|
| 分担金・義務的拠出金の有無 | | 有(所管官庁) | | 無 | |
| 当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額 | | | | 71,888千円 | |
| 国際機関等名 | 経済協力開発機構(地域開発政策委員会) (英文名称・略称) Organisation for Economic Co-operation and Development (Territorial Development Policy Committee) (OECD/TDPC) | | | | |
| 種別 | 国連(事務局) | 国連(基金・計画) | 国連専門機関 | その他 | |
| 所管官庁担当局課名 | 国土交通省 国土計画局 総務課 | | | | |
| 最近3年間の我が国支払額及びODA率 | | | | | |
| 単位 | 邦貨 (千円) | 外貨1 (千ドル) | 外貨2 (千) | | ODA率(%) |
| 平成19年度 | 15,050 | | | } 円建て | 0 |
| 平成18年度 | 15,050 | | | | 0 |
| 平成17年度 | 15,050 | | | | 0 |
| 当該拠出金の目的・用途等 | 経済協力開発機構のプロジェクトに対して積極的な参加を行うため。 | | | | |
| 拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの) | | | | 国際機関等の財政 (OECD全体)(2007年度決算) | |
| | 国名 | 金額 (千ユーロ) | 拠出率(注) (%) | 当該年度の収入 | 364,287千ユーロ |
| 1位 | イタリア | 523 | 17.3% | 当該年度の支出 | 360,518千ユーロ |
| 2位 | 日本 | 489 | 16.1% | 次年度への繰越 | 3,768千ユーロ |
| 3位 | 英国 | 328 | 10.8% | 会計検査機関名 | |
| 4位 | 南アフリカ | 245 | 8.1% | Board of Auditors, | |
| 5位 | カナダ | 230 | 7.6% | Deloitte & Associés | |
| 上記の率及び順位は2007年のもの | | | | | |
| 当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む) | | | | | |
| 地域開発政策委員会(TDPC)は、広範な視点から地域・国土政策に関して各国の地域・国土政策担当者と意見を交換できる貴重な機会であり、当該委員会の副議長を我が国が務めるなど、我が国としてはこれまでも積極的に参加してきており、我が国の地域・国土政策の充実に貢献するものと評価。 | | | | | |
| 合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 | | | | | |
| 平成11年度に構造改革において、都市と農村との相互作業等の検討を強化するために「都市グループ」と「農村地域開発グループ」が統合され、地域開発政策委員会が設立された。組織の合理化が図られると同時に、広く地域政策が検討できる点において機能の強化につながったと評価。また、OECDの非加盟国が参加する会合や、閣僚級ハイレベルが出席する会合を開催するなど、国際貢献度・影響度も高くなっていると評価。 | | | | | |
| 邦人職員数 | 3人 | | 当該機関全体の職員数 | 35人 | |
| うち幹部以上 | うち 0人 | | 及び邦人職員が占める率 | 8.6% | |
| 邦人職員が占めている幹部ポスト | | | | | |
| ポストの名称 | | 職員氏名 | | 備考 | |
| | | | | | |
| 当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画 | | | | | |
| 地域開発政策委員会に対しては、引き続き、邦人職員を送り込む予定。 | | | | | |

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(参考) OECD全体には、この他に内閣府、総務省、外務省、財務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、環境省からも拠出あり。